

ソロシナリオ

「深い雨の降る島」

ランク 1→0(経験点 10 点獲得、スキル 4 つ獲得)

脅威:サメ 闇 0

特技

『超反射』『超音波』『皮』『鱗』『翼』『牙』『超反射』

スキル

クリーチャー

天才

ディザスター

群体

プレイの仕方

抛り所 NPC が必須です。事前に作っておきましょう。

抛り所フェイズ：あなたは今とある南の無人島の海岸で抛り所 NPC と夏休みのレジャーとして海水浴と BBQ を楽しんでいます。

異音フェイズ：海岸で BBQ を楽しんでいると、BBQ を楽しんでいると肉を狙ったのか、海からサメが飛び出してきました。

ただしあなた方のいる場所には届きません。サメはしばらく熱された砂の上で藻掻いていると死にます。が、再起ダイスを振ってください。

その後、南方特有のスコールがふり、深い雨が降ります。その雨に混ざってサメも降って来ます。

鱈い鮫です。

降ってくる鮫の数は再起した闇と同じです。

おじさんたちは空から降ってくる人食いザメから抛り所 NPC を守るため、スコールが終わるまで奮闘することになります。

狂騒フェイズ：ランク 0 のため、情報はありません。

脅威は闇の数だけの匹数で襲ってきます。

抛り所 NPC を対象とした破壊や誘いを行います。

多少いや、かなり現実ではありえない感じでも構いませんので鮫の脅威を演出しましょう。

決戦フェイズ：スコールが取まるころになると、鮫は最後の機会とばかりに一大構成をかけてきます。。

好きに戦ってください。サメの凶暴性を意識してください。

再起するごとに、闇の数だけ鮫が降って来ます。

再起に失敗するとスコールもやみ、鮫が降るのも止まります。

ENDING はこんな鮫がいる島に居られるかと帰ってもいいですし、BBQ を再開して夏休みを満喫してもいいです。

-----

タイトル：深い雨の降る島

作者：波浪

講評：

サメ映画として 100 点。

サメ映画として非常に正しく、PL も GM も「オーケー、そういうサメね？」と納得するでしょう。脅威の闇=サメの数としたのはデータをビジュアルとして表現する手段としてとても優秀で、他のシナリオでも流用できる要素かもしれません。

ただし、難を挙げるのであれば、抛り所 NPC の存在でしょうか。

サメが降る中で多数の NPC を守りきるの難しいですが、それではサメの脅威性が薄れてしまいます。エサ枠の用意は必須とは言いませんが、シナリオの展開上、危機的状況になりえず、せっかくのサメ映画なのにサメがあまり活きてこないマスタリングになってしまう危険があります。また、脅威を打倒したあとの爽快感というのも今の段階では薄く、エンディングの形を絞り、PC が何を目的としてサメを倒すのか、というのを明確にしていくとより遊びやすくなるでしょう。